

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220221029	公衆衛生学Ⅱ Public Health II	岡田 瑞恵			2	必修	2前期

科目の概要

四大精神の実践を通し、社会で自立し生きるために必要なスキルやリテラシー力を獲得して、人々の健康面を支援できるよう専門的知識と技能を身に付けた管理栄養士の育成を目指す (DP 1・2・3・4)。さらに、社会人基礎力・pisa型学力を実践し、潜在能力を開花させ、地域や国際社会が抱える共通の課題に貢献できるよう努める人材を目指す (DP 5・7)。そのため、この科目では公衆衛生学Ⅰをふまえた上で、人々の健康を規定している要因を評価し、地域社会と保健行政・母子保健・学校保健・産業保健・高齢者の保健・精神保健などの面から健康の現状と抱える課題について学び、また、社会の課題を抽出し、AIを活用しながら解決に向けた方向性を探る (DP6)。

学修内容	到達目標
① 母子保健の課題とそれに係わる保健活動を理解する。 ② 学校保健の概念とその保健管理を学ぶ。 ③ 勤労者の健康の維持と健康管理を学ぶ。 ④ 高齢者の医療や介護、地域包括システムについて理解する。 ⑤ 地球温暖化が健康に及ぼす影響について理解する。	① 母子保健の課題を要約して説明できる。 ② 学校保健の概念と健康診断の目的を説明できる。 ③ 勤労者のここ10年の労働情勢をつかみ、健康問題を指摘することができる。 ④ 地域包括システムの概要を説明することができる。 ⑤ 地球温暖化の原因を理解し、温暖化抑制の方向性について議論できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	講義中の不明なキーワードや事柄について、ニュース、新聞、書籍、文献、AIを含むICTの活用等によって広く情報を得て、その情報を整理し考え、自分の意見を述べるができる。また、ICT活用による予習・復習をはじめ、主体的に学修を行うことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題解決のため、知識を検索する手段を獲得できる。ICT(NotebookLM)の活用、関連する文献等を見つけ、主体的な学習に繋げることができる。
考え抜く力	課題発見力	自発的な学習を通して、広く社会の抱える課題を見出し、解決に向け考えることができる。
	計画力	グループワークにおいて、役割を遂行し協力しながら結論を導き出すことができる。
	創造力	社会が抱える課題に対し、どう解決すべきかの方向性を考え、表現することができる。
チームで働く力	発信力	グループワークにおいて、学習した知識を提供あるいは共有しつつ、自分の意見を述べ、協働して課題を解決することができる。
	傾聴力	グループワークにおいて、他者との意見の違いを認識するとともに、異なる意見に触れ、物事を多面的に捉える力を身につけることができる。
	柔軟性	グループワークにおいて、様々な意見を傾聴し、他者の意見と自己の意見のすり合わせを行い、一つの結論にまとめ上げることを通して、チームで働く調整力(協働力)を身につけることができる。
	情況把握力	グループワークにおける担当した自分の役割を果たすことができる。
	規律性	講義の時間は個人のみが所有する時間ではないことを理解し、全体の講義に支障をきたす行動を慎むことができる。
	ストレスコントロール力	一つの課題に対し、様々な意見が当然ある。自身の発した意見を他者に否定的に捉えられても、一つの意見に対するものと受け止め、共通の課題を解決するための討論であることを認識することができる。

テキスト及び参考文献

教科書：シンブル衛生公衆衛生学2026
 松本庄亮 監修 辻一郎/小山津 編集 南江堂
 参考書：オクダアキオ編集 健康管理学～予防医学の視点から～
 岡田悦哉 編著 (八千代出版) ・国民衛生の動向、国民福祉の動向、厚生労働白書、環境白書
 オンライン授業/PO000
 政府安全衛生入門/リストアの知見を暮らしに～ (東北大学)
https://lms.gacco.org/courses/course=1:gaccoorg151+2025_01/about

他科目との関連、資格との関連

「公衆衛生学Ⅱ」は、基礎専門分野の社会・環境と健康のなかに位置し、「健康管理概論」「公衆衛生学Ⅰ」で学修した内容を後継する科目であり、その後実践的に学ぶ「公衆衛生学実習」の基礎となる科目である。
 資格との関連：管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者・監視員、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 日々のニュースにアンテナを張って下さい。公衆衛生学上の課題が必ずあります。 テキストから得られる知識だけでなく、ニュース、新聞、書籍、文献、ICTの活用等、情報源を広く持つと同時に、エビデンスに基づいた情報源の利用を行う。 クラスルームにてICTを活用した予習・復習を行う。また、授業資料もクラスルームを通して提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物は必ず提出すること。 講義の中で、不明なキーワードや事柄を積極的に調べる習慣を身につけ、予習・復習シートの記載部分に記す。 googleクラスルームを通して、授業資料、予習・復習シート等の

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	70	①	✓	・授業で学習した内容の理解度や主体的な学びを確認するため、以下の到達レベルをもって各評価の基準とする。 知識の獲得(25%/70):筆記試験において獲得した知識を問う。 知識の応用(25%/70):筆記試験における知識から問う応用問題。 課題解決(50%/70):筆記試験において、現状を把握し課題の解決策を述べる事が出来る。 S:地域保健と保健行政のあらましを理解し、さらに、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健、国際保健医療、主な保健福祉制度の概要について理解し、自己の考えを述べる事が出来る。出題の90%を正解とする。 A:地域保健と保健行政のあらましを理解し、さらに、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健、国際保健医療、主な保健福祉制度の概要について理解することができる。出題の80%を正解とする。 B:母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健について理解できる。出題の70%を正解とする。 C:母子保健、高齢者の保健・医療・介護について理解できる。出題の60%を正解とする。 F:Cのレベルに到達できていない。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	PBL(課題解決型)の発表 知識の獲得(20%/20):課題を抽出し、グループワークに必要な情報やデータを収集する。 知識の活用(30%/20)グループワークにおいて、テーマに基づき、自らの役割を遂行しつつ、積極的に発言し、課題を遂行することができる。グループの意見を集約し結論を導き出し発表することができる。課題解決には、実行力、他者との協働、発信力が必要である。 課題解決(50%/20):解決策を導き出し、発表において提案することができる。 S:90~100%の到達、A:80~89%の到達、B:70~79%の到達、C:60~69%の到達、F:Cに到達していない。		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性)自ら進んで予習や復習をし、管理栄養士に関連する衛生法規について理解する。 (実行力)課題に対する文献、書籍、資料等を見つけて読むことができる。 (課題発見力)介護や福祉等に対するこれからの課題を見つけ出すことができる。 (創造力)健康寿命を延長するための施策について、多面的に考えることができる。 (発信力)プレゼンテーションにおいて、どのような表現が伝わりやすいかを考え発信することができる。 (傾聴力)集中して講義を受講し、他者の意見を傾聴して自己の意見や質問を行うことができる。 (規律性)決められた時間内に問題解決を行うことで、チームによる調整力を身につける。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S:地域保健と保健行政のあらましを理解し、さらに、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健、国際保健医療、主な保健福祉制度の概要について理解し、自己の考えを述べる事が出来る。出題の90%を正解とする。 A:地域保健と保健行政のあらましを理解し、さらに、母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健、国際保健医療、主な保健福祉制度の概要について理解することができる。出題の80%を正解とする。 上記の基準に従い、筆記試験・課題内容・プレゼンテーション等を総合的に評価し、特に優れているものをS(秀)、優れているものをA(優)とする。	B:母子保健、学校保健、産業保健、高齢者の保健・医療・介護と保険制度、精神保健について理解できる。出題の70%を正解とする。 C:母子保健、高齢者の保健・医療・介護について理解できる。出題の60%を正解とする。 上記の基準に従い、筆記試験・課題内容・プレゼンテーション等を総合的に評価する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 地域保健と保健行政 ・地域保健活動の概要 と保健行政について学ぶ。	講義・グループディス カッション・発表 googleクラスルームを 通して、授業資料、予 習・復習シートの配布 を行う。	保健所の行う主たる事 業内容を挙げることで きる。	(予習) シラバスに目 を通し、授業の全体像 を掴んでおく。 (復習) 授業におい て、不明なキーワー ド、事柄について調べ ておくとともに、テキ ストのp. 227-243の授 業内容を熟読しておく。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
2	母子保健 ・母子保健の課題と保 健活動について学ぶ。	講義・グループディス カッション・発表 googleクラスルームを 通して、授業資料、予 習・復習シートの配布 を行う。	近年増加する母子保健 の課題を挙げ、説明で きる。	(予習) テキストの授業 範囲に目を通して、概 要を掴んでおく。 (復習) 授業におい て、不明なキーワー ド、事柄について調べ ておくとともに、 テキストのp. 245-260の授 業内容を熟読しておく。 予習・復習シート(PCR)による 学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
3	学校保健 (1) ・学校保健の概要につ いて学ぶ。 ・子どもの健康状況と ライフスタイル・メン タルヘルスの現状と歯 科保健について学ぶ。	講義・グループディス カッション・発表 googleクラスルームを 通して、授業資料、予 習・復習シートの配布 を行う。	児童生徒の抱える異常 被患における、ここ10 年の動向について説明 できる。	(予習) テキストの授業 範囲に目を通して、概 要を掴んでおく。 (復習) 授業におい て、不明なキーワー ド、事柄について調べ ておくとともに、 テキストのp. 261-178の授 業内容を熟読しておく。 予習・復習シート(PCR)による 学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 規律性
4	学校保健 (2) ・学校環境管理につ いて学ぶ。	講義・グループディス カッション・発表 googleクラスルームを 通して、授業資料、予 習・復習シートの配布 を行う。	学校保健における健康 診断の目的を説明でき る。	(予習) テキストの授業 範囲に目を通して、概 要を掴んでおく。 (復習) 授業におい て、不明なキーワー ド、事柄について調べ ておくとともに、 テキストのp. 278-286の授 業内容を熟読しておく。 予習・復習シート(PCR)による 学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
5	産業保健 (1) ・近年の労働情勢と勤 労者保健、労働災害、 職業病について学ぶ。	講義・グループディス カッション・発表 googleクラスルームを 通して、授業資料、予 習・復習シートの配布 を行う。	作業環境の管理とし て、熱中症のⅠ、Ⅱ、 Ⅲ度の症状と対応を説 明できる。	(予習) テキストの授業 範囲に目を通して、概 要を掴んでおく。 (復習) 授業におい て、不明なキーワー ド、事柄について調べ ておくとともに、 テキストのp. 289-308の授 業内容を熟読しておく。 予習・復習シート (PCR)による学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
6	産業保健 (2) ・職場における健康診 断と健康増進について 学ぶ。	講義・グループディス カッション・発表 googleクラスルームを 通して、授業資料、予 習・復習シートの配布 を行う。	法令で実施が義務づけ られている一般健康診 断、特殊健康診断、臨 時の健康診断の違いが 説明できる。	(予習) テキストの授業 範囲に目を通して、概 要を掴んでおく。 (復習) 授業におい て、不明なキーワー ド、事柄について調べ ておくとともに、 テキストのp. 309-316の授 業内容を熟読しておく。 予習・復習シート(PCR)による 学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
7	高齢者の保健・医療・ 介護 (1) ・加齢に伴う問題、高 齢者の生活と健康につ いて学ぶ。	講義・グループディス カッション・発表 googleクラスルームを 通して、授業資料の配 布を行う。	介護保険認定が必要に なった原因を挙げ、介 護保険認定のスキーム について説明できる。	(予習) テキストの授 業範囲に目を通して、 概要を掴んでおく。 (復習) 授業におい て、不明なキーワー ド、事柄について調べ ておくとともに、テキ ストのp. 319-326の授 業内容を熟読しておく。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 規律性
8	高齢者の保健・医療・ 介護 (2) ・高齢者の保健と医 療、介護保険、地域包 括ケアシステムにつ いて学ぶ。	講義・グループディス カッション・発表 googleクラスルームを 通して、授業資料、予 習・復習シートの配布 を行う。	地域包括ケアシステム とは何かを説明でき る。	(予習) テキストの授 業範囲に目を通して、 概要を掴んでおく。 (復習) 授業におい て、不明なキーワー ド、事柄について調べ ておくとともに、 テキストのp. 327-336の授 業内容を熟読しておく。 予習・復習シート(PCR)による 学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	精神保健 (1) ・ストレスと精神健康、現状について学ぶ。	講義・グループディスカッション・発表 googleクラスルームを通して、授業資料、予習・復習シートの配布を行う。	精神保健における1次予防～3次予防を説明することができる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストのp. 337-347の授業内容を熟読しておく。予習・復習シート(PCR)による学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	精神保健 (2) ・精神保健福祉活動について学ぶ。	講義・グループディスカッション・発表 googleクラスルームを通して、授業資料、予習・復習シートの配布を行う。	精神保健福祉における保健所の役割について説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストのp. 347-356の授業内容を熟読しておく。予習・復習シート(PCR)による学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	国際保健医療 ・人種と民族と国、国際機関を通じた協力について学ぶ。	講義・グループディスカッション・発表 googleクラスルームを通して、授業資料、予習・復習シートの配布を行う。	WHOおよびFAOの主な活動を説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストのp. 357-371の授業内容を熟読しておく。予習・復習シート(PCR)による学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	保健医療福祉の制度と法規 (1) ・保険医療行政とその仕組みについて学ぶ。	講義・グループディスカッション・発表 googleクラスルームを通して、授業資料、予習・復習シートの配布を行う。	医療計画の作成において、医療圏の設定と特定医療分野の5疾患6事業について説明できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストのp. 373-387の授業内容を熟読しておく。予習・復習シート(PCR)による学修を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13	保健医療福祉の制度と法規 (2) ・医療保障、年金の仕組みについて学ぶ。	講義・グループディスカッション・発表 googleクラスルームを通して、授業資料の配布を行う。	社会保障の分類を理解できる。	(予習) テキストの授業範囲に目を通して、概要を掴んでおく。 (復習) 授業において、不明なキーワード、事柄について調べておくとともに、テキストのp. 387-395の授業内容を熟読しておく。次回のディスカッションの準備を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
14	グループワーク (1) : PBL(課題解決型) ・社会にある課題を抽出し、情報やデータを収集、テーマに従いディスカッションを行い、解決に向け結論を導き出す。発表媒体の作成。 ・ワーキングシートの作成	演習 (グループワーク) ディスカッション ICT(NotebookLM)の活用	グループの作業に対し積極的に作業に参加でき、発言および提案ができる。	(予習) 共有すべき情報を調べ、提示できるよう準備する。 (復習) 発表の準備を行い、次週までにgoogleクラスルームに提出する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
15	グループワーク (2) : 発表 ワーキングシートの作成	演習 (グループワーク) ディスカッション	抽出テーマにおけるプレゼンテーションを行い、グループワークにて導き出した結論を発表することができる。また、積極的に質問・討議に参加できる。	(予習) 時間内に発表できる形にまとめておく。媒体の準備を行う。 (復習) 発表内容の概要をまとめ、ワーキングシートを提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力